



きょうなん

令和元年
2019
vol. 73

contents

平成30年度決算	2
議会だより・入札参加資格申請追加受付	3
組合議会議員・執行部の紹介	4
厚生支援課通信・慈生園からのお知らせ	5
集団救急事故対応訓練・消火技術競技大会	6
救急救命士紹介・違反対象物公表制度	7
防火ポスター入賞者・臨時急行イベント	8



関連ページ 8ページ

● 峡南の人口(令和元年11月1日現在)
男 23,560(-545) 女 24,783(-629) 計 48,343(-1,174)
()は平成30年11月1日人口との比較

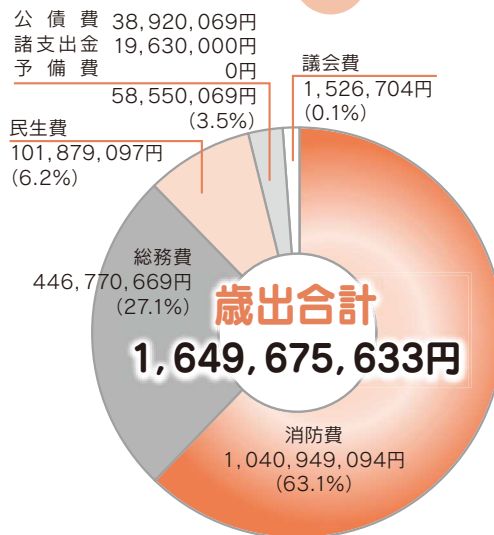
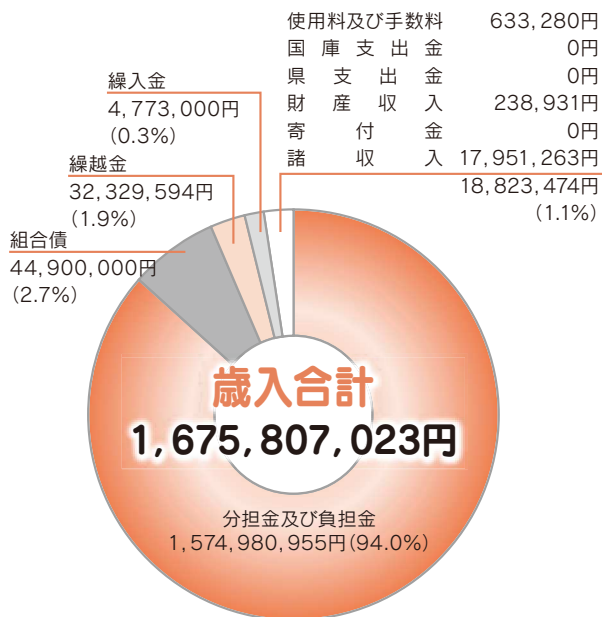
● 編集・発行
峡南広域行政組合 〒409-3244 山梨県西八代郡市川三郷町岩間495
TEL.0556-32-5011 FAX.0556-32-5013
<http://www.kyonan.jp/>
E-mail : info@kyonan.jp

平成
30年度

一般会計・特別会計決算

【一般会計】【介護保険特別会計】【峡南ふるさと市町村圏特別会計】の3つの会計の決算が令和元年10月定例議会において認定されました。

一般会計



歳入（組合に入のお金）

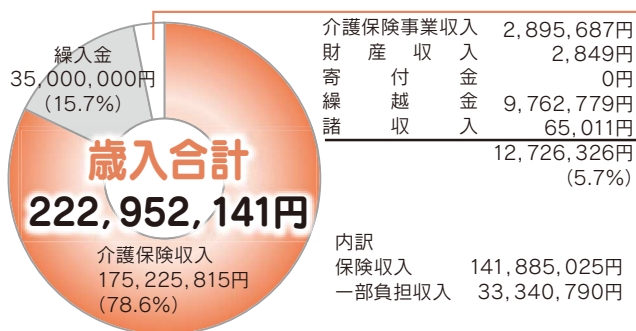
一般会計の収入総額は16億7580万7023円でした。これは構成5町からの分担金及び負担金为主なもので歳入の『94.0%』を占めています。

分担金及び負担金のうち、職員人件費や一般的な事業運営費等の組合費負担金が13億4544万2千円、町のパソコン端末のリース料・安全に端末が使用出来るようにするための修理や保全にかかる保守料・システム使用料等の町電算システム負担金が1億3675万1千円、各町のネットワークをつなぐ広域ネット運営費負担金が3571万8千円、養護老人ホーム慈生園入所者の生活費・事務費等の民生費負担金が5706万9955円となっています。

歳出（組合で使うお金）

- 議会費** 組合議員の報酬の他、議会運営にかかる経費です。
- 総務費** 峡南広域行政組合事務局総務課・厚生支援課・計算センターの運営にかかる総務費等の経費・業務費です。
- 民生費** 老人ホーム慈生園に入所している方の生活費及び施設運営費です。
- 消防費** 消防本部の運営及び消防施設整備にかかる経費です。

※計算センターは平成31年4月1日より情報センターに名称変更しています。



歳入（組合に入のお金）

歳入の主なもの、国民健康保険団体連合会等から支払われる保険収入と介護サービス利用者が支払う一部負担金で、この2つが歳入総額の『78.6%』を占めています。



歳出（組合で使うお金）

- 施設入所運営費** 特別養護老人ホーム施設職員の総務費等の事務管理にかかる経費です。
- 施設入所処遇費** 特別養護老人ホーム入所者の生活にかかる経費です。
- 通所介護運営費** デイサービスの運営にかかる経費です。
- 訪問介護運営費** 養護老人ホーム入所者の介護サービス提供にかかった経費です。

峡南ふるさと市町村圏特別会計

歳入	歳出
県支出金 0	総務費 1,567,759
財産収入 4,238,026	事業費 5,766,157
繰入金 7,410,000	諸支出金 4,335,000
繰越金 98,768	計 11,668,916
諸収入 54	
計 11,746,848	

(単位:円) 事業費の内訳 (単位:円)

事業名	予算額	主な使いみち
創発的な産業園づくり事業	4,836,493	観光PR事業費
体系的な基盤づくり事業	929,664	ホームページ運営費

議会だより

令和元年七月三日、令和元年第一回峡南広域行政組合議会臨時会において、条例一件、契約締結一件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。内容については次のとおりです。

条例改正

・峡南広域行政組合火災予防条例中改正の件

不正競争防止法等の一部を改正する法律が平成三十年五月三十日に、住宅

用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の

一部を改正する省令が平成三十一年二月二十八日にそれぞれ公布されたこと

に伴い、所要の改正を行う必要が生じたため改正しました。

契約締結

・水槽付消防ポンプ自動車の売買契約締結の件

契約の目的 水槽付消防ポンプ自動車の購入

契約の方法 指名競争入札による契約

契約の金額 一金 五千三百二十万円(内消費税 四百八十二万円)

契約の相手方 株式会社モリタ 東京営業所 部長 山北 忠司

令和元年十月二十一日、令和元年第二回峡南広域行政組合議会定例会において、条例三件、補正予算二件、決算認定三件、選任四件について審議され、いずれも原案のとおり可決、認定及び同意されました。内容については次のとおりです。

条例改正

・峡南広域行政組合職員給与条例中改正の件

地方公務員法が改正されることに伴い、職員が成年被後見人等に至ったことをもって失職することがなくなることから、所要の改正を行う必要があるため改正しました。

・峡南広域行政組合手数料条例中改正の件

消費税及び地方消費税の税率の引き上げにより、地方公共団体の

手数料の標準に関する政令に規定する手数料の額が引き上げられたことに伴い、所要の改正を行う必要があるため改正しました。

・峡南広域行政組合火災予防条例中改正の件

重大な消防法令違反のある防火対象物について、利用者等に建物の危険性に関する情報を公表し、利用者等の選択を通じて防火安全に対する意識を高めるとともに、防火対象物の関係者による防火安全体制の確立を促すため改正しました。

補正予算

・令和元年度峡南広域行政組合一般会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ六百十九万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額を十七億二千八百八十六万六千円としました。

・令和元年度峡南広域行政組合介護保険特別会計補正予算(第一号)
歳入歳出予算の総額は二億一千五百七十五万四千円から増減はありませんが、支出科目の財源更正を行いました。

決算認定

・平成三十年度峡南広域行政組合一般会計歳入歳出決算認定の件

・平成三十年度峡南広域行政組合介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件

・平成三十年度峡南広域行政組合峡南ふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算認定の件

☆決算認定については、〇〇ページをご覧ください。

選任

・峡南広域行政組合公平委員会委員の選任の件

任期満了に伴い、市川三郷町の渡邊正弘氏を再任しました。

・峡南広域行政組合公平委員会委員の選任の件

任期満了に伴い、富士川町の小池茂氏を再任しました。

・峡南広域行政組合公平委員会委員の選任の件

任期満了に伴い、新たに南部町の萩原敬氏を選任しました。

・峡南広域行政組合監査委員の選任の件

議会選出監査委員の辞任に伴い、新たに早川町の佐野理男氏を選任しました。

一般競争(指名競争)入札参加資格申請の追加受付が始まります。

平成31・32年(令和1・2)度分の入札参加資格申請の受付を2月中旬に実施しましたが、令和2年度分の追加受付を実施します。

※すでに令和1・2年度分の申請を提出している業者が登録区分を追加することも可能です。

受付期間

令和2年2月3日(月)～令和2年2月28日(金) 午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)
峡南広域行政組合ホームページ(12月下旬掲載予定)をご確認ください。

申請方法

<http://www.kyonan.jp/>

峡南広域行政組合議会議員

令和元年11月1日現在

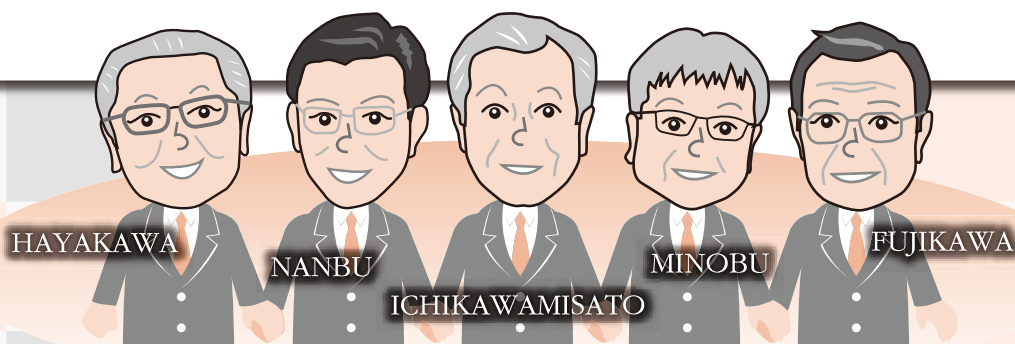
議席番号	氏 名		所属委員会名等		議会運営委員会
第 1 番	松野 清貴	◎	総務消防常任委員会	★	議会運営委員会
第 2 番	村松 武人		総務消防常任委員会		
第 3 番	秋山 詔樹		情報センター慈生園常任委員会		
第 4 番	小林有紀子		情報センター慈生園常任委員会		
第 5 番	深澤 公雄		情報センター慈生園常任委員会		
第 6 番	長澤 健	副議長	総務消防常任委員会	☆	議会運営委員会
第 7 番	望月 恒	○	総務消防常任委員会		議会運営委員会
第 8 番	佐野 理男	○	情報センター慈生園常任委員会		議会運営委員会
第 9 番	広島 法明		総務消防常任委員会		
第10番	芦澤 健拓	議長	情報センター慈生園常任委員会		
第11番	高橋 茂広	◎	情報センター慈生園常任委員会		議会運営委員会
第12番	遠藤 光宣		総務消防常任委員会		

◎常任委員会委員長 ○常任委員会副委員長
★議会運営委員会委員長 ☆議会運営委員会副委員長

監 査 委 員	
岸本 正幸	知識経験
佐野 理男	議会選出

公 平 委 員 会 委 員	
渡邊 正弘	市川三郷町
小池 茂	富士川町
萩原 敬	南部町

理 事 会		
市川三郷町長	久保 眞一	代表理事・兼消防業務担当理事
富士川町長	志村 学	副代表理事・兼情報センター業務担当理事
早川町長	辻 一幸	理 事
身延町長	望月 幹也	理 事
南部町長	佐野 和広	慈生園業務担当理事





厚生支援課通信

峡南地域の現在の状況について



みなさんこんにちは。厚生支援課です。

今回の厚生支援課通信では、峡南地域の現状についてお伝えします。ニュースや新聞で『人口減少』や『高齢化社会』という言葉を目にすることがあります。皆さんの住む、この峡南地域はどのような状況か知っていますか。

平成25年2月発行の広報にて一度、峡南地域の人口等をお伝えしていました。6年前の状況と比較をしてみます。

総人口、高齢者人口

山梨県

総人口

838,823人(-16,923人)

高齢者人口

244,277人(+29,960人)

※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数
(平成30年1月1日現在)参照

峡南地域

総人口

52,992人(-5,598人)

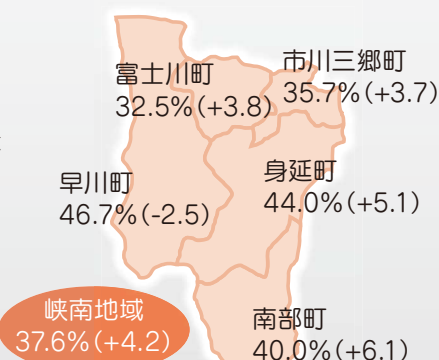
高齢者人口

19,905人(+324人)

※高齢者人口=65歳以上の人口

高齢化率

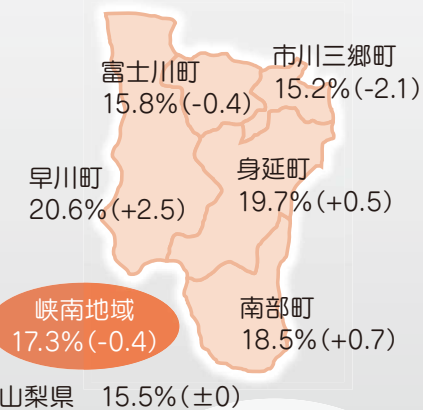
(総人口に占める高齢者人口の割合)



認定率

(第1号被保険者)※第1号被保険者=65歳以上

第1号被保険者に占める要介護認定者の割合



※厚生労働省要介護認定適正化事業 平成30年度第2回要介護認定業務分析データ

介護保険事業状況報告(暫定)(平成29年12月分)参照

※()内の数字は、平成25年2月発行広報との比較となります。

6年を経過した現在、総人口の減少と高齢者人口の増加傾向がみられており、峡南地域では山梨県平均を8.5%上回る非常に高い高齢化率となっています。また介護認定の認定率をみますと峡南地域では、山梨県平均を1.8%上回り、山梨県内他地域と比べ介護保険を利用される方が多くみられています。

介護保険制度は、生活に介護が必要な状態となってもいつまでも安心して生活ができるように、高齢者の介護を社会全体で支えるための制度です。しかし、人口減と高齢化率の上昇に伴う保険料の上昇は、今後ますます厳しくなっていくことが予想されます。

健全な制度運営のため適正なサービス利用に皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

慈生園の業務が一部変更になります。

平成28年度に峡南広域行政組合の全ての施設の在り方を検討した結果、入所者の減少が著しい養護老人ホーム部門について、5年間を目途(令和4年3月末)に廃止する方向で決定いたしました。

今後は入所者の対応を最優先に考えながら他施設への入所などを促していく予定です。

なお、併設の特別養護老人ホーム及びデイサービス部門については、今後もより一層サービスの充実と効率的な運営に努めて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。





峡南(広)消防本部 集団救急事故対応訓練を実施



峡南(広)消防本部では、令和元年9月11日、18日、25日及び10月2日の4日間をかけて、市川三郷町鴨狩津向にあるつむぎの湯のご協力と地域住民のご理解により、同施設の駐車場において【集団救急事故対応訓練】を実施しました。

これは、事件や事故のほか自然災害などの非常時により、多くの負傷者がいる現場を想定し、その災害現場で活動する指揮隊、救急隊、消防隊及び救助隊が的確に連携して負傷者を迅速に搬送するための訓練です。

訓練は、現実起こりうる事故を想定した現場を再現し、指揮隊の指示による各隊の連携した活動訓練のほか、大きな災害等の現場で重要になる情報収集・伝達の訓練並びにトリアージ(ケガ人等の治療の優先順位を判断すること。)能力の向上訓練を併せて行い、非常時に備えた有意義な訓練となりました。

近年では、事件、事故、地震災害に加え大雨による災害の危険を身近に感じるが多くなっています。峡南(広)消防本部では、住民の安心と安全への願いに応えられるように、多様化する災害に備えた訓練をこれからも重ねて実施していきます。

第38回

消火技術競技大会開催!

峡南消防本部主催、峡南防火協会後援の第38回消火技術競技大会が10月30日に開催され、管内の12事業所から、消火器の部に16チーム、女性の部に7チーム、屋内消火栓の部に12チーム、総勢60名が参加しました。選手は日頃から各事業所で行われている消火訓練の成果を十分に発揮し競い合いました。その結果は下記の通りです。



消火器の部(一般の部)

順位	事業所名
優勝	株式会社アスクテクニカ B
準優勝	身延山久遠寺 A
3 位	身延山久遠寺 B
敢闘賞	山梨中央銀行市川支店
敢闘賞	株式会社アスクテクニカ A
敢闘賞	(株)はくばく B

消火器の部(女性の部)

順位	事業所名
優勝	身延山久遠寺
準優勝	東タイ株式会社富士川工場
3 位	社会福祉法人 ふれあい倶楽部



屋内消火栓の部

順位	事業所名
優勝	身延山久遠寺 A
準優勝	株式会社 下部ホテル
3 位	株式会社はくばく
敢闘賞	身延山久遠寺 B
敢闘賞	株式会社アスクテクニカ C
敢闘賞	株式会社マルアイ A

峡南(広)消防本部救急救命士を紹介します。

峡南(広)消防本部救急救命士の実動人員は21名、昨年は2,480件の救急に出場しております。

平成3年に救急救命士が誕生し、その業務内容は社会のニーズに応えるように処置が拡大し、現場での判断、病院選定、傷病者の観察、一分一秒を争う救命活動は即時性と的確性をより求められてきました。

その為、我々救命士はスキルアップ、技術の向上を目指して、消防業務の他に県立中央病院で研修を行い、外傷医療、集団災害等の標準化プログラムを取得し知識、技術の習得に励んでいます。

峡南管内は山間地域も多く管轄地域も広い為、1件の救急出場には数時間かかる事案も多く、出場が終われば、事務処理を行い、日夜ハードな業務をこなしております。

現場活動によっては、精神的にも辛い事がある業務ですが、一人でも多くの命を救う為の活動をしている中で、努力が報われる瞬間は何物にも代えがたいものがあり、救命士の励みになる瞬間でもあります。

これからも、救命士一人ひとりが切磋琢磨し、峡南地域住民の皆様の期待に応えられますよう、誠実に職務を全うしていきたいと思っております。

一人でも多くの
命を救うために…

北部署

中部署南分署

中部署

Emergency Medical Technician

「違反対象物の公表制度」

令和2年度
から開始
されます。

令和元年10月21日に火災予防条例が改正され、令和2年4月1日から「違反対象物の公表制度」が施行されます。この制度は建物の利用者が、自ら火災危険性に関する情報を入手し、安心して建物を利用することができるよう、峡南(広)消防本部が保有する建物の火災危険性に関する情報(重大な消防法令違反)をホームページで公表するものです。詳しくは当消防本部のホームページをご覧ください。

<http://www.kyonan.jp/70shobo/index.html>

違反対象物情報は
消防本部ホームページ
で公表されます。



消防本部の立入検査

法令違反があった場合には



ホームページで公表



違反を公表する旨を関係者に通知

令和
元年度

防火ポスター入賞者発表

峡南(広)消防本部では、児童・生徒の火災予防の啓発と防火モラルの高揚を図るため、管内の小中学生から防火ポスターを募集しました。

本年度は、小学生からの応募が18校、279点、中学生からの応募が9校、100点の計27校、379点あり、厳正な審査の結果、入賞作品が決定しました。



富河小 2年 望月 楓



上野小 4年 雨宮航太郎



下山小 6年 服部 準平



鯉沢中 1年 佐野 歩



市川小 1年 小林 敬治



市川小 1年 立川 苺香



市川小 3年 小林 梨紗



身延小 4年 畑野 泰生



市川小 5年 大平優羽里



市川小 6年 高室 太虎



南部中 2年 小林 月妃



三珠小 3年 中野 佳奈

	小学生の部			中学生の部
	1・2年生	3・4年生	5・6年生	
入選	市川小 2年 高室 龍生	身延小 4年 高山 いまり	市川小 6年 山下 紗弥	市川南中 3年 一瀬 心
	上野小 2年 丹澤 忠成	市川小 3年 立川 香愛也	市川小 6年 高室沙愛也	南部中 2年 草場 致温
	下山小 2年 佐野 楓夏	増穂小 4年 井上 珠維	市川小 6年 今村 愛護	市川中 2年 渡邊 華蓮
	身延清穂小 1年 山田 志乃	万沢小 4年 遠藤夏弥乃	増穂小 5年 深澤 悠平	六郷中 1年 小林 歩佳
	早川南小 1年 宮本 真子	身延清穂小 3年 山田 依緒	市川小 6年 青柳 菜緒	南部中 1年 石川 侑音
努力賞	鯉沢小 2年 依田向日葵	富河小 4年 小池かなで	六郷小 5年 齋藤 岳人	増穂中 2年 熊谷 樹
	早川北小 1年 望月深士朗	増穂小 4年 小池 杏奈	市川東小 5年 北島 水惺	早川中 2年 藤本 実来
	睦合小 2年 加藤みな実	市川南小 4年 平岡 美空	大塚小 5年 塩島 恒哉	身延中 2年 山本 ゆう



臨時急行「富士川 山車巡行祭り」号を運行

臨時急行イベントは、平成28年度からJR東海と富士川地域・身延線沿線観光振興協議会との共同で、身延線の利用促進と峡南5町の魅力を感じていただくことを目的に開催しています。

今年度は、11月4日(月・祝) 富士川町の町政施行10周年を記念した山車巡行祭りに合わせ、臨時急行「富士川 山車巡行祭り」号を運行しました。

列車内での記念品の配付や鯉沢口駅でのお出迎えなどによるおもてなしを実施し、たくさんのお客様からお喜びの声をいただきました。

